

目次

発刊にあたって

I 講義編

1 行動科学とは	2
2 保健医療行動	
1 保健医療行動とは	6
2 動機づけ理論	10
3 行動変容ステージ	16
4 社会的背景	20
5 文化的背景	22
6 哲学的背景	24
3 患者-医療者関係とコミュニケーション	
1 患者-医療者関係	28
2 患者の権利と医療者の義務	30
3 コミュニケーション技術	32
4 保健医療専門職のプロフェッショナリズム	
1 医師	36
2 歯科医師	38
3 看護師	40
4 助産師	42
5 保健師	46
6 リハビリテーション職種	48
7 ソーシャルワーカー	50
8 カウンセラー	52
5 多職種・市民連携	
1 チーム医療	54
2 患者会と家族会	56
3 地域包括ケア	58
4 病院ボランティア	62
6 様々なアプローチ	
1 動機づけ面接法	64
2 コーチングとティーチング	68
3 ナラティブ・アプローチ	70
4 セルフマネジメント支援	74
5 カウンセリング	76
6 回想法	78
7 認知行動療法	80
8 ソーシャルワーク	82
9 ホリスティック・アプローチ	84

Ⅱ 演習編

1 価値交流学习	92
2 コミュニケーション技法1: 反応を示しながら聞く	94
3 コミュニケーション技法2: 要約する	96
4 コミュニケーション技法3: 共感する	98
5 会話のときの姿勢	100
6 ナラティブ・クエショニング	102
7 要求の明確化	108
8 自己イメージ法	110
9 色彩イメージ法	112
10 協力ゲーム	114
11 多職種連携のためのケーススタディ	116

索引

執筆者